

令和7年度第2回 食品ロス削減推進協議会 議事要旨

1 日 時

令和8年2月24日（火） 13:30～14:30

2 場 所

オンライン（Teams）会議

3 出席者

○委員14名（委員14名のうち6名出席）

氏 名	所属団体・役職等
デュアー <small>たかこ</small> 貴子	東海学院大学健康福祉学部学部長 教授
<small>まえざわ</small> <small>しげのり</small> 前澤 重禮	岐阜大学社会システム経営学環特任教授
<small>ふなだ</small> <small>じゅん</small> 船田 淳	岐阜県商工会議所連合会 岐阜商工会議所事務局長
<small>ながや</small> <small>まき</small> 長屋 満紀	（福）岐阜県社会福祉協議会生活支援部長
<small>かどわき</small> <small>えいこ</small> 門脇 栄子	生活協同組合コープぎふ組合員理事
<small>くまだ</small> 熊田 あゆみ	（一財）岐阜県地域女性団体協議会 長森南女性の会

○事務局（岐阜県環境エネルギー生活部）

吉川 尚文 環境エネルギー生活部次長

佐藤 優子 環境エネルギー生活部県民生活課長

堀 弘明 環境エネルギー生活部県民生活課消費生活対策監

小池 裕美 環境エネルギー生活部県民生活課消費生活安全係長

4 議事要旨

- (1) 事務局から議事1「岐阜県食品ロス削減推進計画の見直しについて」の説明を行った後、委員との意見交換を実施。

【委員】

- ・「てまえどり」の啓発が有効であり、実際に行動変容につながっている。

【委員】

- ・食品ロスに興味がない方に対して、どのように周知していくかが課題である。
- ・県民の方の日常行動を変えるようなアプローチが必要ではないか。

【委員】

- ・食品ロス削減の取組について、若い世代には十分認知されていないと感じている。若い世代向けの周知方法を考えてほしい。

- (2) 事務局から議事2、3「令和7年度推進施策実施状況および令和8年度推進施策について」の説明を行った後、委員との意見交換を実施。

【委員】

- ・栄養教諭が月に数回中学校を訪問するという取組は、県で学習会のようなことをしているのか。

→ **【事務局】**

- ・当該取組は羽島市教育委員会によるもの。学校への取材により紹介させていただいた。

【委員】

- ・経済団体として、チラシ等をご提供いただければ、事業者に対する周知啓発に協力できる。

【委員】

- ・取組の背景や食品ロス削減の経緯を知ることが、消費者の環境配慮行動に影響する。
- ・作成した教材をまとめたものを、小売り店舗など、実際に商品を購入する場所に設置することで経緯を知ることができ、全世代の消費者向けの啓発につながるのではないか。

【事務局】

- ・貴重なご意見に感謝する。取組に生かしていく。

(3) その他意見

【委員】

- ・賞味期限切れ食品と消費期限切れ食品に対する行政の対応や指針はどうなっているのか。
- ・企業にとってはマイナスキャンペーンになるが、価格やその場の衝動で不要なものを購入することを抑えることも、食品ロス削減の一つのアプローチではないか。
- ・資料に聞きなれないカタカナ用語が多いと感じるので対応があるといい。

→ 【事務局】

- ・食品の期限表示への理解促進については、中間見直し案の 42 ページに記載している。
- ・事業者向けには、食品科学研究所において技術的な指導を行っている。
- ・小売り店舗へのアプローチとしては「ぎふ食べきり運動」を県民運動として実施している。

【廃棄物対策課】

- ・「ぎふ食べきり運動」の中で SNS を活用した広報を行っている。消費者に対しどのようなアプローチが有効か検討しながら取組を進めていく。

【事務局】

- ・中間見直し案では、分かりにくいカタカナ用語については注釈を付けて対応している。
- ・今後の啓発や情報発信にあたっては、できるだけ分かりやすく伝えるよう努める。

【委員】

- ・「賞味期限切れ食品はどう対応すべきか」と質問があった場合、行政としてどのような回答になるか。

→ 【事務局】

- ・一律に「消費期限切れは廃棄すべき」「賞味期限切れはこうすべき」と伝えるのではなく、消費期限と賞味期限の違いや内容を周知啓発していく取組をしている。

【生活衛生課】

- ・事業者には、期限切れが発生しないよう、仕入れ等を調整し使い切る指導をしている。
- ・消費者から直接質問を受けた場合、行政として判断できないため、消費期限は劣化が早いので食べない方がよい、賞味期限は状態を見てご自身で判断してもらおうという回答になる。

【委員】

- ・食べられるのに捨ててしまうのが、食品ロスの大きな課題。
- ・賞味期限切れ食品は、まだ十分食べられるというような説明はあり得るのか。

→ 【生活衛生課】

- ・賞味期限については、期限が過ぎたからといって、すぐに食べられなくなるものではないという説明は行っているが、保管方法や開封後の状態によって異なるため、最終的には自身で判断してくださいと説明している。

【事務局】

- ・岐阜県食品ロス削減推進計画については、3月の公表に向け事務局と座長の間で最終案をとりまとめ決定させていただく。
- ・いただいたご意見については、来年度の予算執行に生かしていく。